

## TI\_2120 : ガス器具に関する新しいドキュメントおよび注意事項



iCombiガス式



2021/12/16

## テーマ

新しいガスコンポーネントの導入に伴い、新しい説明書と文書が適用されます。以下の設置、安全、メンテナンスに関する注意事項が、iCombiユニットのガス器具に関するあらゆる作業に即座に適用されます。

## 対象となる製品 / アクセサリー

iCombiガス

- 6-1/1
- 6-2/1
- 10-1/1
- 10-2/1
- 20-1/1
- 20-2/1

## 一般情報

ラショナルの機器に取り付けられているガス器具部品には、部品製造元のドキュメントが適用されます。

## 注記

使用する前に、部品製造元のドキュメントとラショナルの情報を必ずお読みください。

## ターゲットグループ

- 本書は、トレーニングコースおよび安全に関する指導を受け、メーカーから認定と研修を受けた技術者を対象としています。
- 設置、検査、メンテナンスおよび修理作業は、訓練を受けた技術者だけが行うことができます。
- 点検、メンテナンス、修理は、メーカーから認定された技術者だけが行うことをお勧めします。
- お子様はユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ユニットは、遊ぶために使用しないでください。これは、監視のもとであっても許可されません。
- 身体的、視聴覚的、あるいは精神的な障害のある人、または経験あるいは知識が不十分な人は、ユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ただし、このグループの人々が、安全に関する責任者によって監督され、この装置の危険性を認識させられている場合は、この限りではありません。
- 事故の危険や物的損害を防止するため、メーカーは技術者が定期的にトレーニングや安全説明会に参加することを推奨しています。

QRコードまたはリンクから文書にアクセスすることができます。



図 10: QR-Code\_jp

[https://portal.rational-online.com/fs4p/media/service/3\\_dokumentationen/icombi\\_pro\\_\\_icombi\\_classik/beipack/divers\\_1/Sicherheitshinweise-Gaskomponenten\\_jp.pdf](https://portal.rational-online.com/fs4p/media/service/3_dokumentationen/icombi_pro__icombi_classik/beipack/divers_1/Sicherheitshinweise-Gaskomponenten_jp.pdf)

## 修正ログ

この手引の前バージョンの変更事項

- ガス弁の最大トルクに関する注記とグラフを追加しました。

## 訓練を受けた専門家のみが作業を実施できます

本製品の輸送、開梱、操作、メンテナンス、その他の使用は、適切な資格を持ち、訓練を受け、指示を受けた専門家のみが行うことができます。

## 基本的な安全規則

ガス器具がもたらす安全上のリスクは、最終ユニットへの取り付け後、再度慎重に評価しなければなりません。最終製品は、関連する全ての法的要件、指令、適用地域で有効な安全規制（国別事故防止規則や技術規則など）に準拠しているかどうかを総合的に検査した後のみ、試運転を行なうことができます。ガス器具の作業をする際には、次のことを守ってください。

- 部品メーカーの許可無しにガス器具の変更、取り付け、改造を行わないでください。
- 最終ユニットメーカーの運転説明書の情報を遵守してください。

## ケーブルと配線を点検してください

ガス器具の電気設備は定期的に点検してください。緩んだ接続部や欠陥のあるケーブルは直ちに交換してください。

## ガスの安全に関する注意事項

- ガス漏れ検知  
ガス漏れの検知には、電子式ガス漏れ検知器（スニッファー）のみを使用してください。ガス漏れ検知用のスプレーや石鹼水は絶対に使用しないでください。
- ガス気密性  
試運転前および作業後には、ガス経路およびガス制御弁の気密性を点検し、確認する必要があります。

## ガス弁の安全に関する注意事項：

- 圧力入口、CO<sub>2</sub>ネジ、チェック補償導管のみへの作業が可能です。オフセットネジの固定用ワニスが緩んでいると、保証が無効になります。
- オフセットと主流量絞りの設定は、混合気の組成、それによって燃焼の衛生状態に影響を与えます。  
ガス弁の修理を実施することはできず、CO<sub>2</sub>ネジの設定のみ可能です。オフセットの設定は禁止されています。ガス弁の特性上、CO<sub>2</sub>目標値による設定ができない場合、ガス弁の交換が必要です。
- バーナーシステムで爆燃が発生した場合、ガス弁の交換が必要です。
- 液体ガスシステムの場合、ガス器具は0°C以下で運転しないでください。  
液体の液体ガスにのみ適しており、液体炭化水素はシール材を破壊します。
- 試運転の前や作業後には、ガス経路やガス制御弁の気密性を点検し、確認する必要があります。

以下のガスコンポーネントが影響を受けます。部品に同梱されている以下の取り付けおよび取り外し説明書（MI）を遵守してください。

- ガス弁
- ガス排気
- ガス弁付きガス排気
- ガスホース（卓上型ユニット）
- ガスホース（床置き型ユニット）

## 注記

印の付いている設定ネジ (1) と (2) は、 $1.2\text{Nm}$  ( $\pm 0.1\text{Nm}$ ) のトルク  
でのみ締め付けることができます。  
トルクが大きすぎると、弁が破損します。









